

十勝の土壌と農業

Part 8

筒木 潔

帯広畜産大学名誉教授

土壌学

<https://tsutsuki.net>

Part 8

その他の代表的土壌

- 火山放出物未熟土
- ポドソル土（猿払）
- 暗赤色土
- 褐色森林土
- 低地土（沖積土 褐色・灰色・グライ）
- 泥炭土
- 非アロフェン質黒ボク土（愛知県新城市）



未熟火山性土（弟子屈）



火山放出物未熟土
(弟子屈)



砂丘ポドソル土
猿払村



暗赤色土 (和寒)

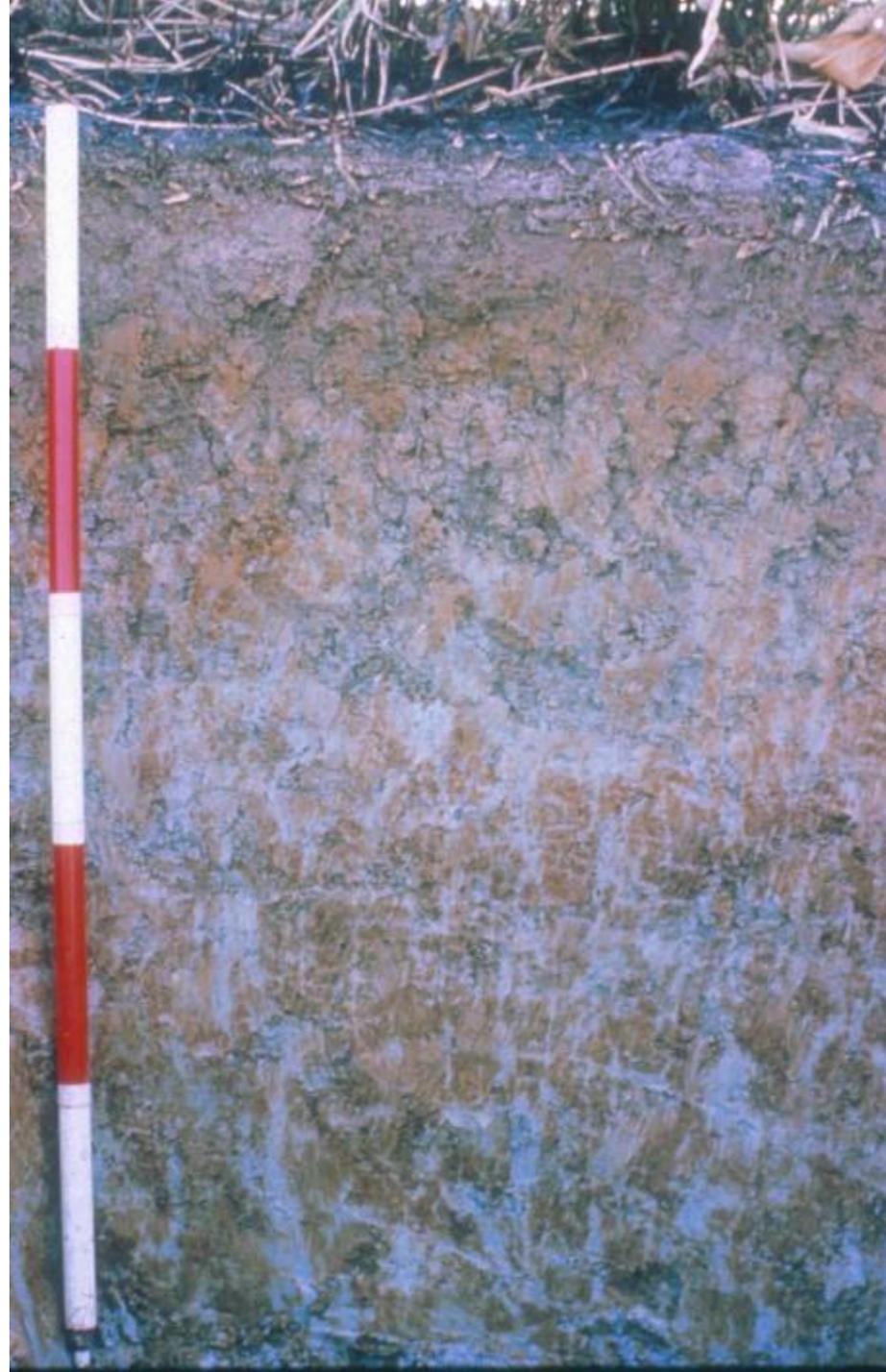
古土壤



褐色森林土
(上富良野)
未耕地

美瑛丘陵の褐色森林土 (十勝岳起源の非常に古い火砕流堆積物)





火砕流堆積物が水中
堆積したのち、陸地化
して土壌化したもの

粘土質で非常に固い。

季節的な酸化と還元
の繰り返しにより斑紋
ができています。

灰色台地土（滝川）

灰色台地土（滝川畜試森林内）





褐色低地土
長沼町
中央農試圃場

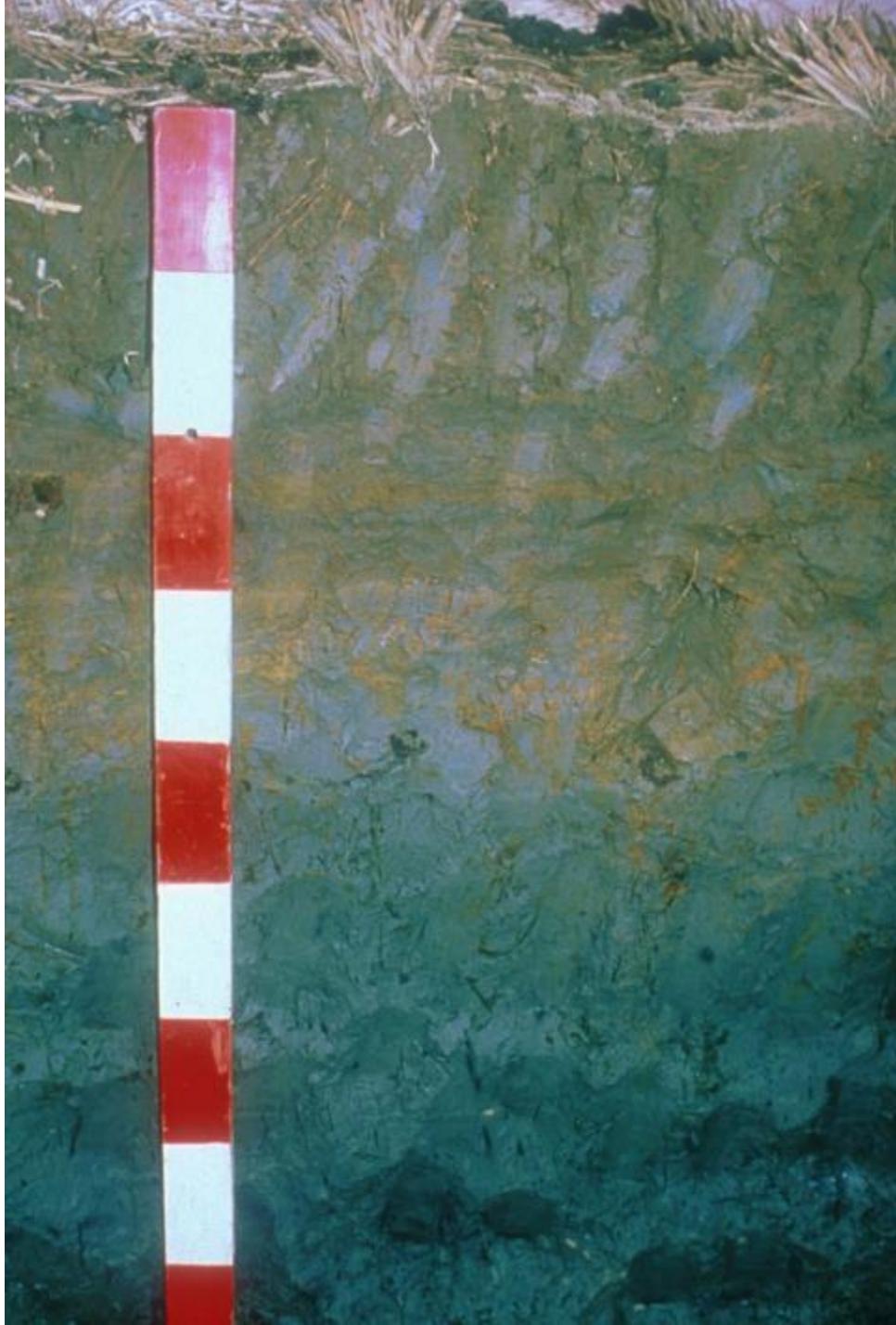


褐色低地土
(幕別町相川)

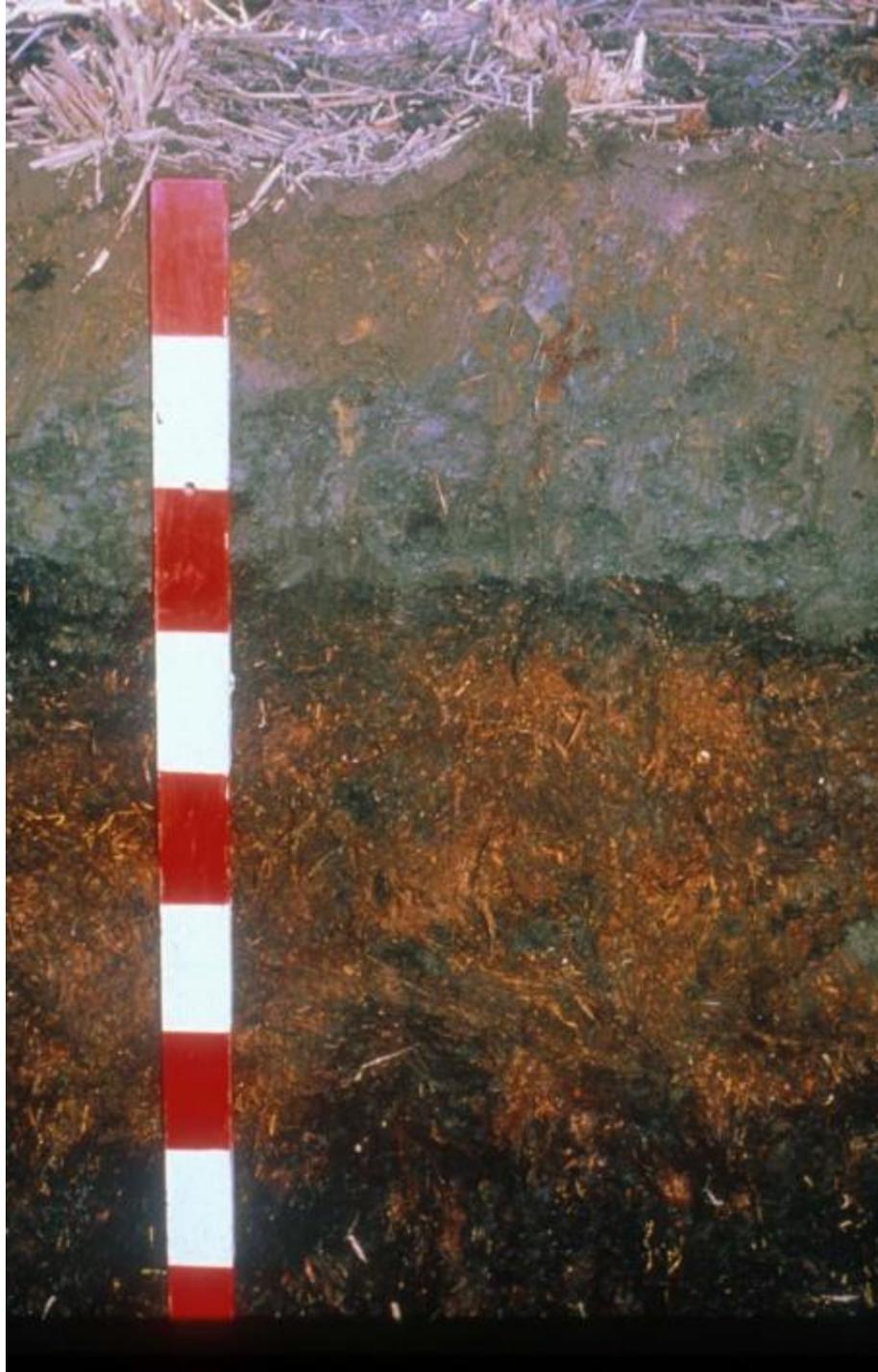


灰色低地土
岩見沢

石狩川水系
幾春別川沖積母材
タマネギ畑



グライ低地土
南幌町



泥炭地客土水田
(南幌町)



泥炭土（美唄）

台地・丘陵土壌の特性

- 十勝管内の灰色台地土はほとんど本別町、足寄町、陸別町に分布し、表層に薄く新期火山灰が載っている。土壤酸性と堅密度が問題となる。
- 褐色森林土は更別町、大樹町、本別町、足寄町、陸別町の火山灰層が薄くなった山地，丘陵地・段丘地に分布している。

低地土の特性

- 低地土は現河川の沖積土で酸性は弱く、養分に富み、一般に肥沃な生産性の高い土壌である。
- 台地や段丘上の小河川流域では火山灰を混入し、排水不良地もある。礫が問題になることも多い。

低地土の特性（続）

- 褐色低地土が約8割を占め、畑地が多く 一般に生産性が高く、粗粒質と中粒質が半々である。
- 灰色低地土とグライ低地土は大河川に注ぐ小河川や河川下流域に分布し、(旧)水田・草地が多い。灰色低地土は中粒質が5割、粗粒質が3割。グライ低地土はほとんどが中粒質である。

泥炭土の特性

- 十勝川下流域に分布し、ヨシ、ハンノキなど低位泥炭主体で分解不良のものが多い。
- 酸性、過湿などが問題となる。
- 普通畑には適していないので、草地として利用されている。

非アロフェン質黒ボク土 (参考)
愛知県新城市日吉(2018.3.4)



非アロフェン質黒ボク土の特性

- 完新世の火山灰が降灰していない地域で、非火山灰性の母材の上に生成した黒ボク土。
- 主要な母材としては段丘堆積物や第三紀玄武岩などの母岩であるが、大陸由来の風成塵（黄砂）や古い広域火山灰の影響も考えられている。
- 粘土鉱物にアロフェンを含まず、Al型バーミキュライトなどの2:1型粘土鉱物を含んでいる。
- 下層土は強酸性を示す。
- 北海道では、上川町石狩川上流部、中川町、美深町、枝幸町などの丘陵および台地上に広く分布している。
- 十勝地方では足寄町、本別町などの丘陵地に部分的に分布している。